

独立行政法人日本学生支援機構
令和6年度 全国キャリア教育・就職ガイダンス
キャリア教育・就職支援の取組事例紹介

三重大学 キャリア教育科目の全学生必須化に向けた施策と 全学部との調整に関する事例紹介



三重大学教育推進・学生支援機構
学生支援・キャリアセンター
専任講師 長岡 みか

I. 本学の概要

II. キャリア教育科目必須化までの経緯

III. 必須化1年目(2023年度)の状況

IV. 必須化2年目(2024年度)の状況



I. 本学の概要

II. キーワード教育科目必須化までの経緯

III. 必須化1年目(2023年度)の状況

IV. 必須化2年目(2024年度)の状況



2

建 学：昭和24年(1949年)

学 部：人文学部・教育学部・医学部・工学部・生物資源学部

学生数：7,076名(学部生5,912名、大学院生1,164名※2024年5月)

所在地：三重県津市



3

I. 本学の概要

II. キャリア教育科目必須化までの経緯

III. 必須化1年目(2023年度)の状況

IV. 必須化2年目(2024年度)の状況



4

経 緯

2020年

キャリア教育科目の体系化を検討開始

2021年

キャリア教育改革に向けた方向性の検討

2022年

「キャリア教育入門」必須化に向け準備開始

5

必須化前の課題

①人員体制

②授業形態

③教員の負担

6

必須化前の課題

①人員体制

②授業形態

③教員の負担

7

必須化前の課題

①人員体制

1年生：約1,300名

各学部主担当：1名～2名

キャリアセンター所属教員：2名
(専任1名、特任1名)

8

必須化前の課題

①人員体制

②授業形態

③教員の負担

9

必須化前の課題

②授業形態

2023年度：オンライン(Zoom)形式



2024年度：対面形式へ

- 教員の確保
- 教室の確保

10

必須化前の課題

①人員体制

②授業形態

③教員の負担

11

必須化前の課題

③教員の負担

各学部担当教員の士気が高まらない



キャリアセンター所属教員の負担が大きい

12

I. 本学の概要

II. キャリア教育科目必須化までの経緯

III. 必須化1年目(2023年度)の状況

IV. 必須化2年目(2024年度)の状況



13

1. 各学部の実施状況※()は履修人数

- 人文学部(252名)：オンライン(Zoom)形式
- 工学部(412名)：オンデマンド形式
- 教育学部(204名)：オンライン(Zoom)形式
- 生物資源学部(280名)：オンライン(Zoom)形式
- 医学部(205名)：オンライン(Zoom)形式

14

2. 人員体制

【前期】

各学部担当教員：1クラスにつき1名

専任講師：1名

非常勤講師：1名

【後期】

各学部担当教員：1クラスにつき1名

専任講師：1名

特任講師：1名

15

2023年度前期時間割

- 人文学部(法律経済学科**154名**、文化学科**98名**)：オンライン(Zoom)形式
- 工学部(**412名**)：moodleを活用したオンデマンド形式
- 教育学部(**204名**)：オンライン(Zoom)形式

前 期	月	火	水	木	金
1・2 限目 1 コマ目	人文学部 (法律経済)	人文学部 (文化)			
8:50～10:20	専任教員	非常勤講師			
3・4 限目 2 コマ目			全学部対象		
10:30～12:00			専任教員		
5・6 限目 3 コマ目			教育学部		
13:00～14:30			専任教員		
7・8 限目 4 コマ目					
14:40～16:10					
9・10 限目 5 コマ目					
16:20～17:50					

※工学部・・・オンデマンド形式

16

2023年度前期時間割

- 工学部(**412名**)：moodleを活用したオンデマンド形式

第3回自己理解①「価値観・自己の特性」

下記【資料】から配布資料をダウンロードしてから動画を視聴しましょう。動画を視聴後「キャリア教育入門振り返りシート(第3回)」を提出してください。



【資料】授業の資料が入っています

※ 授業で使用する資料が置いてあります。必ず事前に全ての資料をダウンロードしておきましょう。

【提出】「キャリア教育入門振り返りシート(第3回)」はここに提出します！

※ 動画視聴後、必ず5月5日(日)までに提出してください。ファイルをアップロードする際のファイル名は学生番号+名前とすること。間違っても原紙(未記入)のまま提出したり、他の授業科目の課題を提出した場合は「未提出」と判断しますので、各自責任をもってしっかりと確認し、指示通りの正しい課題を提出してください。また、記入されている内容が真摯に取り組んでいないことが明白な場合は「未提出」と判断することがあります。

17

2023年度後期時間割

- ・生物資源学部(資源・共生140名、生命・海洋140名)：オンライン(Zoom)形式
- ・医学部(205名)：オンライン(Zoom)形式

後 期	月	火	水	木	金
1・2 限目 1 コマ目					
8:50～10:20					
3・4 限目 2 コマ目					
10:30～12:00					
5・6 限目 3 コマ目			生物資源 学部 A	生物資源 学部 B	
13:00～14:30			専任教員	特任教員	
7・8 限目 4 コマ目					
14:40～16:10					
9・10 限目 5 コマ目		医学部			
16:20～17:50		特任教員			

18

課 題

- ①オンライン形式による混乱
- ②2024年度に向けた教員の人員不足
- ③授業内容(シラバス)が学部ごとに違うための煩雑さ
- ④学部との連携が困難

19

I. 大学の概要

II. 基礎コア教育科目必須化までの経緯

III. 必須化1年目(2023年度)の状況

IV. 必須化2年目(2024年度)の状況



20

1. 2023年度からの改善点

①対面式授業への変更

②授業内容(シラバス)の統一

③非常勤講師の採用

21

2. 各学部の実施状況※()は履修人数

- 人文学部(254名)：対面形式
- 工学部(411名)：対面形式
- 教育学部(209名)：対面形式
- 生物資源学部(274名)：オンライン(Zoom)形式
- 医学部(208名)：対面形式

22

3. 人員体制

【前期・後期】

各学部担当教員：1クラスにつき1名

専任講師：1名

特任講師：1名

非常勤講師：1名

23

2024年度前期時間割

- 人文学部(254名)法経2クラス79名&80名、文化1クラス98名：対面形式
- 工学部(254名/411名)化学92名、機械82名、総合39名&建築41名：対面形式
- 教育学部(209名)2クラス130名&79名：対面形式

前 期	月	火	水	木	金
1・2 限目 1 コマ目	キャリア教育 入門 (人文学部・法経 A・B)	キャリア教育 入門 (人文学部・文化)			
8:50~10:20	専任教員・特任教員	特任教員			
3・4 限目 2 コマ目			キャリア教育 入門 (工・化学)		
10:30~12:00			特任教員		
5・6 限目 3 コマ目			キャリア教育 入門 (教育学部 A・B)	キャリア教育 入門 (工・機械)	
13:00~14:30			専任教員・特任教員	非常勤講師	
7・8 限目 4 コマ目				キャリア教育 入門 (工・総合 建築)	
14:40~16:10				非常勤講師	
9・10 限目 5 コマ目					
16:20~17:50					

24

2024年度後期時間割

- 生物資源学部(274名)2クラス137名&137名：オンライン(Zoom)形式
- 工学部(157名/411名)電気94名、情報63名：対面形式
- 医学部(208名) 2クラス104名&104名：対面形式

後 期	月	火	水	木	金
1・2 限目 1 コマ目					
8:50~10:20					
3・4 限目 2 コマ目					
10:30~12:00					
5・6 限目 3 コマ目		キャリア教育入門 (工・電気)	キャリア教育入門 (生物資源 A・B) オンライン		
13:00~14:30		非常勤講師	専任教員・特任教員		
7・8 限目 4 コマ目		キャリア教育入門 (工・情報)			
14:40~16:10		非常勤講師			
9・10 限目 5 コマ目		キャリア教育 入門 (医学部 A・B)			
16:20~17:50		専任教員・特任教員			

25

Ⅰ. 経緯

Ⅱ. 現状

Ⅲ. 課題



26

課 題

- ①出欠管理・課題提出管理の徹底
- ②工学部再履修学生の2年生必須授業と
「キャリア教育入門」が重複
- ③生物資源学部が2025年度から
対面授業に変更になるための様々な懸念
- ④2025年度から学生にテキスト購入の徹底

27

ご清聴ありがとうございました



28

キャリア教育科目の全学生必須化に向けた施策と 全学部との調整に関する事例紹介

発表概要

本学は、すべての学生に自律的で積極的なキャリア形成を促し、自身のキャリアを主体的に築き上げていく態度やスキルを身につけるため、2023 年度からキャリア教育科目「キャリア教育入門」を全学生に必須化した。キャリアセンター所属教員と各学部教員が協働して授業内容を構築し、まだいくつかの課題は残っているものの、少ない人員で何とか必須化を実現した。その過程を報告し、今後、キャリア教育に力を入れていく他大学と共に、よりよいキャリア教育の在り方を検討したい。

I. 本学の概要

昭和 24 年(1949 年)に、三重県津市に建学した。5 学部(人文学部・教育学部・医学部・工学部・生物資源学部)、6 研究科(人文社会科学研究科・教育学研究科・医学系研究科・工学研究科・生物資源学研究科・地域イノベーション学研究科)を有し、総学生数は、7,076 名(学部生 5,912 名、大学院生 1,164 名※2024 年 5 月)を数える総合大学である。

II. キャリア教育科目必須化までの経緯と必須化前の課題

1. 経緯

①キャリア教育改革に向け、キャリア教育科目の体系化を検討開始(2020 年)

全学でキャリア教育改革に取り組むための検討を開始し、キャリア教育を体系的に教育する枠組みを考え、具体的な授業科目を検討した。

a. キャリア教育基本科目(3 科目)の設定

「キャリア教育入門」「インターンシップ入門」「ビジネスキャリア入門」

b. キャリア発展科目の検討

「文系キャリア形成入門」「理系キャリア形成入門」

②キャリア教育改革に向けた方向性の検討(2021 年)

a. 全学共通教育改革とキャリア科目(6月～10月)

- ・現行の共通カリキュラムに相当する必修科目への組み込み

講義内容の一部をスタートアップセミナーに組み込むことを検討したが、実現が困難であるため、「キャリア教育入門」を必須科目にする方向で検討した。その結果、「キャリア教育入門」を 2022 年度入学生より各学部仕様の科目として準備するという方向で協議を進めることとなった。

- ・「キャリア教育入門」大学基礎科目としての位置づけの確認(11月)

「キャリア教育入門」を共通教育における「大学基礎科目」として必須化することが確定した。時期としては、2023年度入学生からとし、各学部仕様の科目として準備を進めることとした。同年12月から作業に着手し、2022年3月末までに学部ごとの科目原案を作成し、2022年度前期中に最終確定をすることとした。

③「キャリア教育入門」必須化に向け準備開始(2022年)

a. 各学部の授業計画を検討(1月)

各学部の特色を出すため、それぞれの事情に合わせた授業形態の検討を始めた。

- ・人文学部：既存の「キャリア教育入門」をアレンジ
- ・生物資源学部：生物資源タイムの単位化 or 既存の「キャリア教育入門」アレンジを検討
- ・工学部、教育学部、医学部については、既存の専門科目を置き換える方向で検討

b. 各学部の授業計画及びシラバスを作成(8月)

- ・人文学部、生物資源学部：既存の「キャリア教育入門」をアレンジ
- ・工学部は：既存の「キャリア教育入門」をアレンジし、履修人数が400名を超えるため、授業形態としては、オンデマンドで実施
- ・教育学部：既存の「教育実地研究基礎」(1単位)と「キャリア教育入門」を統合し、前期(第1回～第6回)は、「キャリア教育入門」の授業内容を、後期(第7回～第15回)は、「教育実地研究基礎」の授業内容を実施する。授業科目名としては「キャリア教育入門」とし、「教育実地研究基礎」は廃止する。
- ・医学部：既存の「キャリア教育入門」をアレンジし、15回の内5回分を実施、10回分は、職種理解等の講義及び講演会を実施する。

2. 必須化前の課題

必須化を進めるにあたり、3点の課題が明確だった。

①人員体制

「キャリア教育入門」は、1年生の必須科目とし、例年の入学者数は、約1,300名である。授業担当教員は、各学部の主担当1名～2名、キャリアセンター所属教員2名(専任1名、特任1名)の体制で始めることとなる。特にキャリアセンター所属教員の負担が著しく、毎回の出席確認、課題評価が大きな負担となることが予想できた。

②授業形式

コロナ禍がほぼ収束し、2023年からは、全学を上げて対面授業を推奨している。「キャリア教育入門」は、毎回グループワークを実施するため、1クラスの履修人数は、100名以内に抑えたい。しかしながら、人員体制が十分でないことから、各学部の1年生を教員が一人で担当せざるを得ず、やむなくZoomによるオンライン形式の授業を実施することになった。2024年度からは対面形式に移行することが課せられている。

③教員の負担

「キャリア教育入門」必須化において、各学部の担当教員がこの授業科目の主担当ではあるものの、キャリア教育の専門家でもなく、その必要性の認識や授業内容の理解も十分ではないため、「キャリア教育入門」の必須化実現に向けて自律的かつ積極的に取り組む士気が高まらない。そのため、キャリアセンター所属教員が各学部の担当教員のとりまとめや授業運営のほとんどを担わざるを得ない。

Ⅲ. 必須化 1 年目(2023 年度)の状況

1. 各学部の実施状況 ※()は履修人数

- ・人文学部(法律経済学科 154 名、文化学科 98 名)：【前期】学科ごとに曜日を替えオンライン形式
- ・工学部(412 名)：【前期】moodle を活用したオンデマンド形式
- ・教育学部(204 名)：【前期】オンライン形式
- ・生物資源学部(資源・共生 140 名、生命・海洋 140 名)：【後期】2 クラスに分け同時にオンライン形式
- ・医学部(205 名)：【後期】オンライン形式

※前期水曜日 3・4 限目の「全学部対象」は、これまでに「キャリア教育入門」を履修していなかった 2 年生以上の学生を対象に実施

前 期	月	火	水	木	金
1・2 限目 1 コマ目	人文学部 (法律経済)	人文学部 (文化)			
8:50~10:20	専任教員	非常勤講師			
3・4 限目 2 コマ目			全学部対象		
10:30~12:00			専任教員		
5・6 限目 3 コマ目			教育学部		
13:00~14:30			専任教員		
7・8 限目 4 コマ目					
14:40~16:10					
9・10 限目 5 コマ目					
16:20~17:50					

※工学部…オンデマンド形式

後 期	月	火	水	木	金
1・2 限目 1 コマ目					
8:50~10:20					
3・4 限目 2 コマ目					
10:30~12:00					
5・6 限目 3 コマ目			生物資源 学部 A	生物資源 学部 B	
13:00~14:30			専任教員	特任教員	
7・8 限目 4 コマ目					
14:40~16:10					
9・10 限目 5 コマ目		医学部			
16:20~17:50		特任教員			

2. 人員体制

前期は、非常勤講師 1 名が採用され、人文学部文化学科のクラスを担当、後期は、特任教員 1 名が採用され、医学部、生物資源学部各 1 クラス、合計 2 クラスを担当した。

【前期】各学部担当教員：1 クラスにつき 1 名、専任講師：1 名、非常勤講師：1 名

【後期】各学部担当教員：1 クラスにつき 1 名、専任講師：1 名、特任講師：1 名

3. 課題

①オンライン形式による混乱

2023 年度は、工学部以外の学部がオンライン形式の授業であったため、下記に記載した様々なトラブルが発生した。

※工学部は履修人数が多く、複数クラスに分けることによる教員が確保できないためオンデマンド形式にて実施

- ・学生が Zoom やオンライン授業に不慣れなため、Wi-Fi、Zoom に接続できない
- ・グループワークでのハウリングや他グループの音が雑音として入り、グループワークがスムーズに実施できない

②2024 年度に向けた教員の人員不足

2024 年度からは対面形式に変更する。毎回の授業でグループワークを実施するため、1 クラスの定員は 100 名程度が上限である。そのため、クラス数が増えるが、現在の教員数では実施が困難。

対策：非常勤講師の採用

③授業内容(シラバス)が学部ごとに違うための煩雑さ

2023 年度の授業内容(シラバス)は、学部ごとに異なっていたため、管理が煩雑になり、教員の負担が大きかった。

対策：人文学部、生物資源学部、工学部を同じ授業内容にし、教育学部、医学部のキャリアセンター教員担当回を同じ授業内容(シラバス)にする

④学部との連携が困難

学部の担当教員とキャリアセンター所属教員が協働して実施したが、学生の指導や評価方法、教室配分等、学部と連携することが難しく、度々問題が起こり、スムーズな授業運営に支障をきたした。

Ⅳ. 必須化 2 年目(2024 年度)の状況

1. 2023 年度からの改善点

2023 年度の状況を踏まえ、下記の改善を実施した。

①対面形式の授業へ変更

生物資源学部を除いた全ての学部の「キャリア教育入門」を対面形式の授業へと変更した。ただし、学部教員が実施する回に関しては、2 クラス同時に実施するクラスがあり、そのクラスに関してはオンラインにて実施する。工学部は、学生数が多いため、コースごとに 5 クラスに分け、3 クラスを前期、2 クラスを後期に実施する。

②授業内容(シラバス)の統一

人文学部・生物資源学部・工学部、教育学部・医学部の授業内容(シラバス)を統一した。

③非常勤講師の採用

前期・後期とも、2 クラスを担当する非常勤講師を採用し、キャリアセンター所属教員を 3 名体制とした。

2. 各学部の実施状況 ※()は履修人数

- 人文学部(法律経済学科 156 名、文化学科 98 名)：【前期】法律学科 2 クラス、文化学科 1 クラス
- 工学部(411 名)：【前期】応用化学コース 1 クラス、機械工学コース 1 クラス、総合工学コース・建築学コース合同で 1 クラス 【後期】電気電子工学コース 1 クラス、情報工学コース 1 クラス
- 教育学部(209 名)：【前期】130 名と 79 名に分けて 2 クラス
- 生物資源学部(274 名)：【後期】2 クラス ※生物資源学部のみオンライン形式
- 医学部(208 名)：【後期】2 クラス

前 期	月	火	水	木	金
1・2 限目 1 コマ目	キャリア教育 入門 (人文学部・法経 A・B)	キャリア教育 入門 (人文学部・文化)			
8:50~10:20	専任教員・特任教員	特任教員			
3・4 限目 2 コマ目			キャリア教育 入門 (工・化学)		
10:30~12:00			特任教員		
5・6 限目 3 コマ目			キャリア教育 入門 (教育学部 A・B)	キャリア教育 入門 (工・機械)	
13:00~14:30			専任教員・特任教員	非常勤講師	
7・8 限目 4 コマ目				キャリア教育 入門 (工・総合 建築)	
14:40~16:10				非常勤講師	
9・10 限目 5 コマ目					
16:20~17:50					

後 期	月	火	水	木	金
1・2 限目 1 コマ目					
8:50~10:20					
3・4 限目 2 コマ目					
10:30~12:00					
5・6 限目 3 コマ目		キャリア教育入門 (工・電気)	キャリア教育入門 (生物資源 A・B) オンライン		
13:00~14:30		非常勤講師	専任教員・特任教員		
7・8 限目 4 コマ目		キャリア教育入門 (工・情報)			
14:40~16:10		非常勤講師			
9・10 限目 5 コマ目		キャリア教育 入門 (医学部 A・B)			
16:20~17:50		専任教員・特任教員			

3. 人員体制

前期・後期とも、工学部 2 クラスを担当する非常勤講師 1 名が採用された。

【前期・後期】各学部担当教員：1 クラスにつき 1 名、専任講師：1 名、特任講師：1 名、非常勤講師：1 名

4. 課題

①出欠管理・課題提出管理の徹底

人文学部・工学部・生物資源学部は、第 1 回と第 10 回を、教育学部・医学部は、第 1 回の授業を、学部担当教員が担当する。そのため、出欠管理・課題提出管理を他の回と統一するよう依頼をしているが、教員によっては、徹底できず、学生にとって不公平が生じている。

(出欠管理は、moodle を活用し、学生が自己申告で指定された時間内に質問に答える形式により実施。課題提出も提出期限を設け、moodle 上に学生自身で提出する形式により実施)

②工学部再履修学生の 2 年生必須授業と「キャリア教育入門」が重複

工学部の再履修学生が、2 年生必須授業と「キャリア教育入門」の時間割が重複するため、2024 年度は、苦肉の策として、2023 年度、オンデマンド形式の授業で作成した動画を視聴&課題提出にて対応している。2025 年度からは、全てのコースで 2 年生必須授業を重複しない時間割を再考することが必須である。

③生物資源学部が 2025 年度から対面授業に変更になるための様々な懸念

生物資源学部のみ、学部改組のため 2024 年度もオンライン形式での実施となった。2025 年度からは、対面形式に変更するため、履修人数調整が必要となり、現行の 2 クラスから 3 クラスに分ける。その際、学部担当教員が 3 名必要となることや、キャリアセンター教員が、今年度よりも 1 クラス多く担当することを鑑み、調整が必要となる。また、工学部と同様に、再履修となった場合、2 年生の必須授業と重複しない時間割を検討する必要がある。

④2025 年度から学生にテキスト購入の徹底

2024 年度までは、授業で使用する資料は、moodle 上から、データで学生に配布をしていた。この度、この資料をひとつにまとめテキストとして編集・出版し、2025 年度からは、学生に購入させる予定である(教育学部・医学部は、テキストを使用する回が少ないため、購入が必須ではない)。そのため、テキスト購入を学生へ周知徹底することが必要。

・参考

【2023 年度】授業内容(シラバス) ※赤字は学部教員担当回

1. 人文学部(オンライン形式)

- 第 1 回 **オリエンテーション**(「人文学部の学科ごとの学びの特質・イメージ」「卒業後の進路・イメージ」)
- 第 2 回 イントロダクション「キャリアとは」「キャリアプランニングの方法」
- 第 3 回 自己理解①「人生観・価値観・自己の特性」
- 第 4 回 自己理解②「強み」「キャリア・アンカー」
- 第 5 回 自己理解③「職業興味」
- 第 6 回 自己理解④「自分史の作成」
- 第 7 回 自己理解⑤「自己紹介シートの作成」
- 第 8 回 「働く」と「生きる」を考える①「モチベーションと働きがい」
- 第 9 回 「働く」と「生きる」を考える②「ダイバーシティ(多様性)を考える」
- 第 10 回 **人文学部インターンシップ事前研修会**(インターンシップについての理解・イメージ)
- 第 11 回 仕事理解①「労働法」(外部講師：社会保険労務士)
- 第 12 回 仕事理解②「ハラスメント」(外部講師：社会保険労務士)
- 第 13 回 仕事理解③「仕事シミュレーション」(外部講師：卒業生)
- 第 14 回 仕事理解④「身近な人の働き方・生き方を学ぼう」
- 第 15 回 レポート作成と振り返り

2. 工学部(オンデマンド形式)

- 第 1 回 **オリエンテーション**
- 第 2 回 イントロダクション「講師の紹介」「キャリアとキャリアプランニング」
- 第 3 回 自己理解①「人生観・価値観・自己の特性」
- 第 4 回 自己理解②「強み」「キャリア・アンカー」「職業興味」
- 第 5 回 「働く」と「生きる」を考える①「ライフスタイルと働くこと」
- 第 6 回 「働く」と「生きる」を考える②「ダイバーシティ(多様性)を考える」
- 第 7 回 「働く」と「生きる」を考える③「質問コーナー」
- 第 8 回 仕事理解①「講師それぞれの仕事経験とキャリア」
- 第 9 回 仕事理解②仕事のしくみ「業界・業種・職種・雇用形態」
- 第 10 回 業界研究「工学部での学びを活かす業界の見方」
- 第 11 回 企業研究①「企業の見方・比べ方」
- 第 12 回 企業研究②「採用担当者に聞いてみよう！」
- 第 13 回 職種研究①「工学部での学びを活かす職種の見方」
- 第 14 回 職種研究②「技術者に聞いてみよう！」
- 第 15 回 レポート作成と振り返り「これから社会に出る学生に伝えたいこと」

3. 生物資源学部(オンライン形式)

- 第1回 オリエンテーション「キャリアとは」「キャリアプランニングの方法」
- 第2回 技術者のキャリア①「キャリア講演」
- 第3回 自己理解①「人生観・価値観・自己の特性」
- 第4回 自己理解②「強み」「キャリア・アンカー」
- 第5回 自己理解③「職業興味」
- 第6回 自己理解④「自分史の作成」
- 第7回 「働く」と「生きる」を考える①「モチベーションと働きがい」
- 第8回 「働く」と「生きる」を考える②「ライフスタイルと働くこと」
- 第9回 「働く」と「生きる」を考える③「ダイバーシティ(多様性)を考える」
- 第10回 技術者のキャリア②「キャリア講演」
- 第11回 仕事理解①「仕事のしくみ」
- 第12回 仕事理解②「身近な人の働き方・生き方を学ぼう」
- 第13回 技術者のキャリア③「キャリア講演」
- 第14回 技術者のキャリア④「技術者としての進路とキャリア」
- 第15回 まとめ「キャリアプランと振り返り」

5. 医学部(オンライン形式)

- 第1回 保健医療福祉分野に関連する社会の現状とプロフェッショナリズム
- 第2回 キャリアプランと意思決定
- 第3回 自己理解「価値観」「自己の特性」「キャリア・アンカー」
- 第4回 医療者のキャリア(1)
- 第5回 医療者のキャリア(2)
- 第6回 医療者のキャリア(3)
- 第7回 医療者のキャリア(4)
- 第8回 先輩医師のキャリア発達
- 第9回 先輩看護師のキャリア発達
- 第10回 他者理解「ダイバーシティ(多様性)」
- 第11回 多職種連携(1)：他の医療職種の役割
- 第12回 多職種連携(2)：多職種連携の実際
- 第13回 ハラスメント(外部講師：社会保険労務士)
- 第14回 労働法(外部講師：社会保険労務士)
- 第15回 国際協力とキャリア開発

4. 教育学部(オンライン形式)

第1回 ガイダンス

第2回 ッキャリアプランと自己理解①「価値観・自己の特性」

第3回 自己理解②「キャリア・アンカー」「職業興味」

第4回 他者理解「ダイバーシティ(多様性)」

第5回 仕事理解①「労働法」(外部講師：社会保険労務士)

第6回 仕事理解②「ハラスメント」(外部講師：社会保険労務士)

※第7回～第15回は、教育学部が担当

【2024年度】授業内容(シラバス) ※赤字は学部教員担当回

1. 人文学部・工学部(対面形式)、生物資源学部(オンライン形式)

第1回 ガイダンス「各学部・学科ごとの学びの特質・イメージ」「卒業後の進路・イメージ」

第2回 オリエンテーション「キャリアの意味」「授業概要」

第3回 自己理解①「人生観・価値観・自己の特性」

第4回 自己理解②「強み」「キャリア・アンカー」

第5回 自己理解③「職業興味」

第6回 自己理解④「自分史の作成」

第7回 自己理解⑤「自己紹介シートの作成」

第8回 「働く」と「生きる」を考える①「ライフスタイルと働くこと」

第9回 「働く」と「生きる」を考える②「ダイバーシティ(多様性)を考える」

第10回 仕事理解①「仕事シミュレーション(外部講師講演：卒業生)」

第11回 仕事理解②「仕事のしくみ」

第12回 仕事理解③「働く上で知っておくべき知識」

第13回 仕事理解④「身近な人の働き方・生き方を学ぼう」

第14回 キャリア形成「キャリアにおける意思決定とキャリアプラン」

第15回 レポート作成と振り返り「これから社会に出る学生に伝えたいこと」

2. 教育学部・医学部(対面形式)

第1回 ガイダンス「各学部・学科ごとの学びの特質・イメージ」「卒業後の進路・イメージ」

第2回 オリエンテーション「キャリアの意味」「授業概要」

第3回 自己理解①「人生観・価値観・自己の特性」

第4回 自己理解②「強み」「キャリア・アンカー」

第5回 自己理解③「職業興味」

第6回 他者理解「ダイバーシティ(多様性)を考える」

※第7回～第15回は、各学部が担当